

外来種 コウリントンポポ防除報告

はじめに

2018年より我々の活動地域内である磐梯山に繁茂する外来種コウリントンポポの調査・防除活動を始めた。近年、環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト（植物）」に載っている外来種であるコウリントンポポが特別保護区磐梯山に繁茂しており、在来の貴重な植物、特にバンダイクワガタを脅かしている。この状態は環境省の選定理由「II.生物多様性の保全上重要な地域で問題になっている、またはその可能性が高い」と「IV.生態系被害のうち競合または改変の影響が大きく、かつ分布拡大・拡散の可能性も高い」にまさに当てはまっている。福島大学の先生に問い合わせたところ国内では防除の情報が見つからず、海外のホームページなどをみると、この仲間は広範囲に侵入すると防除が困難な植物で、貧栄養でかく乱された土地を好み、密な植生に侵入することはむずかしいようで、磐梯山の礫地などはまさに生育に適しているとのことであった。今年度から、福島大学黒沢高秀教授のご指導の下、方形区（コドラート）による調査を開始した。防除方法についても安全な方法のための試行を平地で継続観察していく。

実施場所

磐梯山1400m－1600m付近の広いエリア

実施方法

事前に環境省「特別保護区地区内木竹以外の植物の採取許可申請書」、福島県「保安林≪保安施設地区≫内下草、落ち葉または落枝の採取許可申請書」、林野庁「保安林（保安施設地区）内作業行為の実施に関する同意書の交付申請書」に許可申請し、許可を得た。

入山届を出し、予定した日に磐梯山1400-1600m 付近に片道2時間の登山をし、参加者は腕章など他の登山者との区別を明らかにする。また、許可書を活動地域に掲示する。コウリントンポポが繁茂している場所で、根から抜き取り、抜いたものは持ち帰り、燃えるゴミとして処分する。

調査者

立花千秋 赤木進二

防除協力者

協会会員 サポート会員 福島大学 近隣山岳会 ガイド団体 弘法清水小屋

実施結果

事前準備：環境省・林野庁・福島県の許可証を携帯した2名の作業者がお花畑前の登山道に許可看板を設置した。

作業日時：6月3日

作業参加者：2名

設置場所：磐梯山弘法清水小屋下お花畑（標高1580m付近、下記地図参照）

写真

看板設置後 遠景	看板設置後 近景
	

第1回

作業日時：6月23日8:30~15:30

作業参加者：20名

作業場所：櫛が峰下の稜線（標高1457m付近、下記地図参照）

防除重量：62kg

写真

防除前の繁茂の様子（多くが開花前）	防除後の様子
	
根から引き抜いた様子 株が根でつながっている	作業後の集合写真 袋は防除したコウリンタンポポ
	

第2回

作業日時：6月30日8:30~14:10

作業参加者：22名

作業場所：櫛が峰下の稜線（標高1457m付近）

防除重量：75.5kg

写真

<p>作業の様子</p> 	<p>作業の様子</p> 
<p>繁茂の様子</p> 	<p>作業後の集合写真</p> 

第3回

作業日時：7月4日8:30~15:30

作業参加者：3名

作業場所：櫛が峰下の稜線（標高1457m付近、地図）

写真

繁茂地でのコドラート調査の様子（多くが開花）



調査の近景



バンダイクワガタの様子



調査・防除の様子



第4回

作業日時：7月17日8:30~15:30

作業参加者：11名

作業場所：櫛が峰下の稜線（標高1457m付近）

防除重量：31.5kg

写真

繁茂の様子（多くが開花）



作業の様子



防除したコウリタンポポ



作業後の集合写真



第5回

作業日時：9月14日8:30~15:30

作業参加者：14名

作業場所：櫛が峰下の稜線（標高1457m付近、環境省の許可を取りペグを打ち方形区【コドラート】6個設置）磐梯山弘法清水小屋下お花畑（標高1580m付近）

防除重量：21kg

写真

作業の様子	作業の様子
ペグを打ちコドラート設置の様子	作業後の集合写真

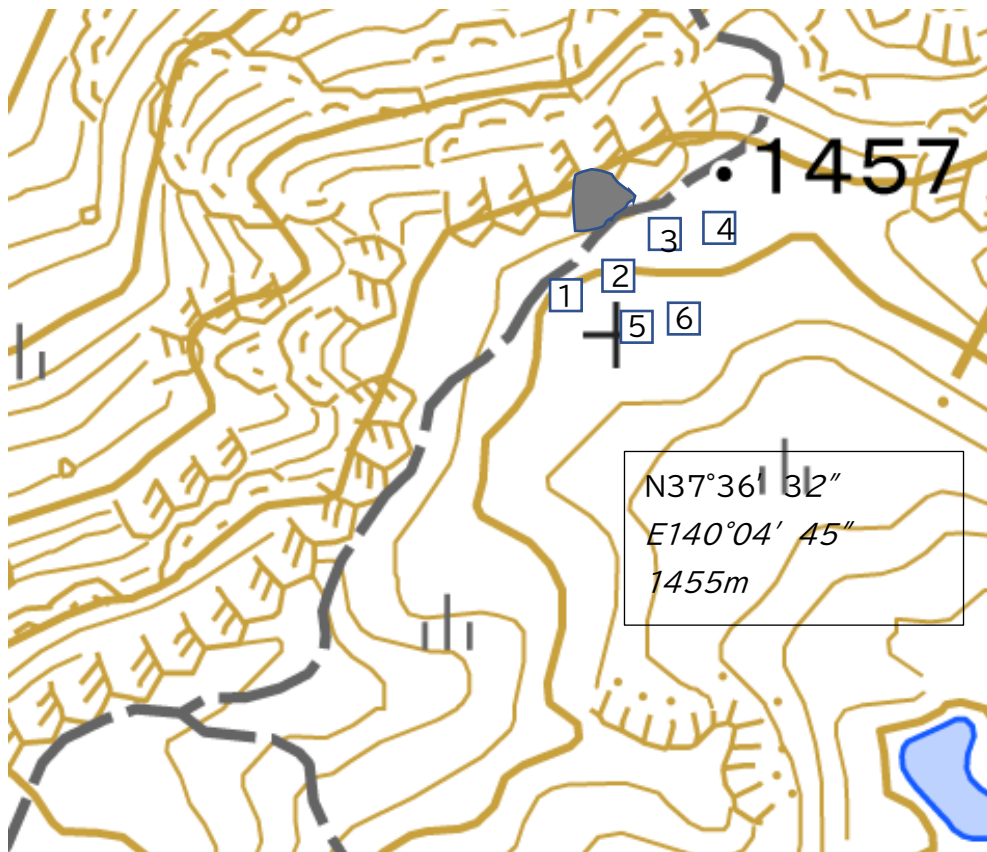
地図

お花畑



櫛ヶ峰下稜線

櫛ヶ峰下稜線 コドラートの位置(イメージ)と番号



方形区（コドラート）調査結果

コウリントンポポ調査用紙			
・基本情報			
日時	場所・コドラート番号		調査者
9月14日	<input checked="" type="checkbox"/> 櫛が峰下のガレ場	No.1	黒沢高秀先生、立花
11時27分	<input type="checkbox"/> お花畑		
・群落高（コドラート内で一番高い植物の高さ、花茎は除く）			
	植物名	高さ	
	メイゲツソウ	20 cm	
・被度（10cm×10cm=1%）（コケは入れる）			
0	全体の被度	100	%
	植物名	割合（%）	
1	コウリントンポポ	20	%
2	コケ	40	%
3	メイゲツソウ	25	%
4	ヨモギ	1	%
5	ミヤマヤナギ	1	%
6	マルバシモツケ	1	%
7	ヤマハハコ	1	%
8	ヒメスゲ	2	%
9	バンダイクワガタ	2	%
10	ミヤマウシノケグサ	1	%
11	オオタチツボスミレ	1	%
12	ホタルブクロ	1	%
13	ハナイカリ	プラス	%
14	アズマギク	プラス	%
15	ハナワラビ	プラス	%
・花茎の数			
	花名	花茎の数	
	コウリントンポポ花茎		
	バンダイクワガタ花茎		
*コドラート内コウリントンポポ引き抜き除去			

コウリントンポポ調査用紙			
・基本情報			
日時	場所・コドラート番号	調査者	
9月14日	<input checked="" type="checkbox"/> 櫛が峰下のガレ場 No.2	黒沢高秀先生、立花	
11時37分	<input type="checkbox"/> お花畑		
・群落高（コドラート内で一番高い植物の高さ、花茎は除く）			
	植物名	高さ	
	メイゲツソウ	30 cm	
・被度（10cm×10cm=1%）（コケは入れる）			
0	全体の被度	100	%
	植物名	割合（%）	
1	コウリントンポポ	20	%
2	コケ	40	%
3	メイゲツソウ	20	%
4	ミヤマヤナギ	プラス	%
5	バンダイクワガタ	1	%
6	マルバシモツケ	プラス	%
7	イワカガミ	10	%
8	オオタチツボスミレ	2	%
9	イワオトギリ	プラス	%
10	ミヤマシャジン	プラス	%
11	ミヤマウシノケグサ	プラス	%
12	ホタルブクロ	プラス	%
13	アズマギク	プラス	%
14	ヒメスゲ	プラス	%
15	ハナイカリ	プラス	
16	ヨモギ	プラス	
17			
18			
・花茎の数			
	花名	花茎の数	
	コウリントンポポ花茎		
	バンダイクワガタ花茎		
コドラート1との距離1m40cm			

コウリントンポポ調査用紙			
・基本情報			
日時	場所・コドラート番号		調査者
9月14日	<input checked="" type="checkbox"/> 櫛が峰下のガレ場	No.3	黒沢高秀先生、立花
11時47分	<input type="checkbox"/> お花畑		
・群落高（コドラート内で一番高い植物の高さ、花茎は除く）			
	植物名	高さ	
	ヤマハハコ	20 cm	
・被度（10cm×10cm=1%）（コケは入れる）			
0	全体の被度	100	%
	植物名	割合（%）	
1	コウリントンポポ	5	%
2	コケ	80	%
3	メイゲツソウ	1	%
4	ヤマハハコ	1	%
5	ヨモギ	5	%
6	ホタルブクロ	1	%
7	ヒメスゲ	1	%
8	ミヤマウシノケグサ	プラス	%
9	オオタチツボスミレ	プラス	%
10	イワキンバイ	1	%
11	コメツツジ	1	%
12	ハナイカリ	プラス	%
13	バンダイクワガタ	プラス	%
14	アズマギク	プラス	%
15			
・花茎の数			
	花名	花茎の数	
	コウリントンポポ花茎		
	バンダイクワガタ花茎		
* コドラート内コウリントンポポ引き抜き除去			

コウリンタンポポ調査用紙			
・基本情報			
日時	場所・コドラート番号	調査者	
9月14日	<input checked="" type="checkbox"/> 櫛が峰下のガレ場 No.4	黒沢高秀先生、立花	
11時57分	<input type="checkbox"/> お花畑		
・群落高（コドラート内で一番高い植物の高さ、花茎は除く）			
	植物名	高さ	
	メイゲツソウ	15 cm	
・被度（10cm×10cm＝1％）（コケは入れる）			
0	全体の被度	90	％
	植物名	割合（％）	
1	コウリンタンポポ	15	％
2	コケ	70	％
3	マルバシモツケ	2	％
4	メイゲツソウ	1	％
5	アズマギク	2	％
6	オオタチツボスミレ	プラス	％
7	バンダイクワガタ	1	％
8	ヒメスゲ	1	％
9	ミヤマウシノケグサ	プラス	％
10	ハナイカリ	プラス	％
11	ホタルブクロ	プラス	％
・花茎の数			
	花名	花茎の数	
	コウリンタンポポ花茎	69	
	バンダイクワガタ花茎	20	
コドラート3とは1m離して設置			

コウリントンポポ調査用紙			
・基本情報			
日時	場所・コドラート番号		調査者
9月14日	<input checked="" type="checkbox"/> 櫛が峰下のガレ場 No.5		黒沢高秀先生、立花
12時07分	<input type="checkbox"/> お花畑		
・群落高（コドラート内で一番高い植物の高さ、花茎は除く）			
	植物名	高さ	
	ヨモギ	10 cm	
・被度（10cm×10cm=1%）（コケは入れる）			
0	全体の被度	50	%
	植物名	割合（%）	
1	コウリントンポポ	10	%
2	コケ	30	%
3	アズマギク	1	%
4	オオタチツボスミレ	プラス	%
5	バンダイクワガタ	1	%
6	ヒメスゲ	2	%
7	ミヤマウシノケグサ	1	%
8	ホタルブクロ	2	%
9	メイゲツソウ	プラス	%
・花茎の数			
	花名	花茎の数	
	コウリントンポポ花茎	22	
	バンダイクワガタ花茎	9	
* コドラート内コウリントンポポ引き抜き除去			

コウリントンポポ調査用紙			
・基本情報			
日時	場所・コドラート番号	調査者	
9月14日	<input checked="" type="checkbox"/> 櫛が峰下のガレ場 No.6	黒沢高秀先生、立花	
12時17分	<input type="checkbox"/> お花畑		
・群落高（コドラート内で一番高い植物の高さ、花茎は除く）			
	植物名	高さ	
	メイゲツソウ	20 cm	
・被度（10cm×10cm=1%）（コケは入れる）			
0	全体の被度	65	%
	植物名	割合（%）	
1	コウリントンポポ	10	%
2	コケ	40	%
3	メイゲツソウ	1	%
4	アズマギク	プラス	%
5	オオタチツボスミレ	プラス	%
6	バンダイクワガタ	1	%
7	ヒメスゲ	2	%
8	ミヤマウシノケグサ	1	%
9	ホタルブクロ	プラス	%
10	ヤマヌカボ	1	%
11	ヒメノガリヤス	プラス	%
・花茎の数			
	花名	花茎の数	
	コウリントンポポ花茎	24	
	バンダイクワガタ花茎	13	
コドラート5とは1m離して設置			

平地での防除結果

コウリンタンポポ調査用紙			
・ 基本情報			
日時	場所・コドレート番号		調査者
7月24日	<input checked="" type="checkbox"/> 眞野家	No.1	立花
13時30分	<input type="checkbox"/> お花畑		
・ 群落高（コドレート内で一番高い植物の高さ、花茎は除く）			
	植物名	高さ	
	スギナ	30 cm	
・ 被度（10cm×10cm=1%）（コケは入れる）			
0	全体の被度	95	%
	植物名	割合（%）	
1	コウリンタンポポ	2	%
2	スギナ	5	%
3	クローバー	1	%
4	シバ	5	%
5	フランスギク	15	%
6	ハルガヤ	プラス	%
7	ルピナス	1	%
・ 花茎の数			
	花名	花茎の数	
	コウリンタンポポ花茎	0	
* 耕作地用除草剤塗り付けあり			

コウリントンポポ調査用紙			
・ 基本情報			
日時	場所・コドラート番号	調査者	
7月24日	<input checked="" type="checkbox"/> 眞野家 No.2	立花	
13時35分	<input type="checkbox"/> お花畑		
・ 群落高（コドラート内で一番高い植物の高さ、花茎は除く）			
	植物名	高さ	
	スギナ	25cm	
・ 被度（10cm×10cm＝1％）（コケは入れる）			
0	全体の被度	95	％
	植物名	割合（％）	
1	コウリントンポポ	50	％
2	スギナ	1	％
3	クローバー	2～3	％
4	シバ	4	％
5	フランスギク	1	％
6	ハルガヤ	1	％
7	ニガナ	プラス	％
8	ヌカボ	プラス	％
9	ヒメジヨン	プラス	％
10	スズメのヤリ	プラス	％
11	ルピナス	プラス	％
12	ノコンギク	プラス	％
13	ミミナグサ	プラス	％
・ 花茎の数			
	花名	花茎の数	
	コウリントンポポ花茎	1	
* 防除なし			
* 花茎の数については草刈り作業後なので参考程度			

考 察

コウリントンポポが防除活動を始めて日が浅く、磐梯山での繁茂の状況は深刻である。同様な土地を好む、磐梯山の希少種バンダイクワガタが競争に負ける勢いである。今年は、福島大学の黒沢高秀教授のアドバイスをいただき、方形区を設置し調査を開始した。調査が9月だったこともあり、コウリントンポポの花季は終わっており、花茎の数は計測しにくかった。来年度からは満開の7月に行く予定である。数年同じ場所で調査を行うことにより、防除活動の効果と、在来種がどのような動きをするか長期にわたり調査する予定である。防除しなければならない面積も広く、防除のためには登山も必要であるが、粘り強く継続しなければならない。防除方法についても安全で確実な方法のための試行を平地で継続観察し、ある程度の効果を示している。